

# 視聴覚教育

NO 120

発行日 61.2.1  
発行 岡崎市AVL  
編集  
広報委員会

## 社会教育活動と

### 視聴覚教育



社会教育指導員 加藤義夫

高度成長にもむなづ豊かさと、人びとの生活志向の多様化と共に、生涯学習に対する関心と気運はますます高まってきた。

社会教育における学習活動はその重要性を増し、教育的機能と活動をより充実する必要に迫られてきている。特にニューメディアを中心とした、高度情報化社会に対応して、その学習活動の中に視聴覚的方法(視聴覚教材や機器の活用)を取り入れていくことも必然的に考えられ、現在では当たり前前の学習方法になっていくようになってよいと思われる。

社会教育においては、人びとの身近に設置されている公民館(市民センター)が、学習者の必要に応える場所として、重要な

意味を持つようになってきた。

社会教育活動の拠点としての公民館における、施設設備の充実とその利用こそ生涯学習の要請に応えられるものであり、今後の課題でもあると思う。図書をはじめとした、視聴覚資料や映像情報機器、放送関係の機器、さらにはマイコン、ワープロ等の情報システムまでもが考えられる。

市当局の設備充実への配慮と、視聴覚ライブラリーの指導により、成人教育、高齢者教室の各講座の中で、PTA対象の生活指導研修会の場で、或は教育放送を主題としたサークル活動等視聴覚教材や機器の活用が図られている。その活用は、学習者の意欲の喚起を目的とすることも多いが、今後は学習者の自主的な利用も考えていかななくてはならない。公民館を中心に、地域単位の人びとの交流を考え、新しい映像メディアの普及にもむなづ、視聴覚教材や機器の活用を進めていかななくてはならないと思う。

材。小5理科 16% 56分 「星の観察」

教。小5理科 16% 52分 「星の動きをしらべる」

月の。子どもの観察の観察、活動記録を描きながら、子ども

ハフの思考の過程をうきほりにし、星の動きを理解させる

内容となっている。

# 完成した大型スクリーンを利用して

連尺小 浅井 近

本校は本年度九月に視聴覚教室が完成した。この教室は市内で唯一の「背面からの透視方式」を用いている。これは、たて15メートル、横2メートルのアクリル板製の大型スクリーンの背後からテレビ、十六ミリ、スライドを映す方式である。このため、視聴中は部屋を暗くする必要がなくなり、ノートがとりやすくなった。また、テレビ放送は、画面が大きいため視聴に耐える刺激が強く、いままで見落しがちであった人物の細かい表情や、グラフ、統計資料などの微妙な変化がとらえやすくなり、子どもたちも今まで以上に真剣な目つきとなり、視聴効果は向上している。子どもたちから「授業がわかりやすく楽しい」という声も多く聞かれるようになってきた。今後、書写で筆の細かい動きを見せたり、鍵盤ハーモニカの使い方や、家庭料での運針など、大スクリーンの特徴を生かした授業展開など、幅広い利用法を工夫し、活用していきたい。



## ニューメディア用語

## 衛星放送

赤道上空三万六千キロの宇宙空間に静止衛星を打ち上げ、日本全国どの地域においても鮮明なテレビ映像を受信できる放送システムで、各家庭で受信用のアンテナを設置することで、難視解消となる。現在より2号Aが活動中であるが、一チャンネルしか放送できないため、2号B型・3号A・B型が計画されている。

### 新着フィルム

(社会教育用) 紹介



- ・ 幼い心を育てる。 30分 母親・一般
- ・ お母さんが働きにでるとき 32分 母親・一般
- ・ ぬくもり 32分 一般
- ・ 夢がざりなく 31分 一般
- ・ 背負子(しよいこ)日記 32分 一般
- ・ ゴンタとよばれた犬 42分 小中・一般
- ・ こんなどきがいちばんあぶない19分 小中・一般
- ・ 泣いた赤おに 15分 幼・小低
- ・ 竹取物語 31分 幼・小低
- ・ 考えていますか、あなただの老後30分 一般